



#### <妊娠手当>

女性が妊娠により仕事に就けない場合、給与の80%が最高50日間支給

#### <両親手当>

育児休業をした際390日間は給与の80%が。

残り90日間は60クローナ(最低保証額)が支払われる。

#### <一時的両親手当>

12歳未満児の看護等のための休業期間について子供1人当り給与の80%が原則60日間支給

(給与の80%が両親手当で保証されている育児休暇390日間のうち、配偶者に譲れないパパクォーター・ママクォーターはそれぞれ60日ずつどちらかに譲り合える分はそれぞれ135日ずつある。)

### 育児休業

出産10日前～8歳の誕生日までに親の事情に合わせて出勤時間の全日、3/4日、1/2日、1/4日と取得することも可能で、連続してとらなくてもよい等柔軟な制度となっている。

---

### 保育サービス(主に4種類に分類されている)

スウェーデンはヨーロッパの主要国で最も充実した保育サービスを提供している国の一つ。

スウェーデンでは両親が働くために子供を託児所に預ける権利があり、また地方公共団体は子供を預かる義務を法律で負っているため、公的児童保育対象年齢を1～12歳までに拡大させ、様々な施設を充実させる事により仕事と家庭の両立を現実的なものになっている。

#### スウェーデンの就学前教育の特徴

- ・ 10年ぐらい前から幼保一元化を実施しているので幼稚園と保育園の区別はなし。
- ・ 親の就労状況によって預ける時間が変わる。ストックホルムの例:  
父親がフルタイム、母親が語学学校などに通う学生の場合は週30時間まで預けられる。
- ・ 預ける時間は自由に決められる。
- ・ 公立とコミューンから補助が出る私立保育所の費用は親の収入によって変わる。  
(詳しくはコミューンへお問い合わせください。)

---

### 保育所 Förskola, preschool

- ・ 日本の保育所に相当
- ・ 1～6歳の就学前児童対象。0歳児利用は基本的にない。  
(1歳くらいまでは育児休業の取得や短時間勤務で対応する両親休暇制度があるため。)
- ・ 子どもの生活の場と教育の場を提供するという機能を果たす。  
(後者の機能も重視する観点から、1996年より社会省から教育省に移されている。)
- ・ 保育所の大半は、コミューン(市町村)により設置、経営  
(一部親たちにより組織運営される両親協同保育所等も存在)。

- ・ 保育サービスは幼児教育の一環として位置づけられている。
- ・ 親の就労支援のため1日 10 時間～12 時間開設  
(パートタイムグループ 4～6歳対象。1日3時間。他の施設と併用されることが多い。)
- ・ 小学校の中に5歳児の通う Förskola が併設されている場合も。

親が子どもの面倒を見ることができる家庭を対象に

開放型保育所 open förskola, open preschoolというものも。

- ・ 子どもの遊び相手や親の情報交換の場を提供することを目的(両親の付き添いが必須。)
- ・ 他のサービスを利用していない未就学児が利用可能。

また個別保育として最寄りの場所に保育所が存在しない場合等に利用可能な以下のようなものも  
コミュニティの実施責任の下で実施

### 家 庭 保 育 所                      フ ァ ミ リ ー デ イ ケ ア

- ・ 両親が働いている12歳以下の児童対象
- ・ チャイルドマインダー(一定の資格を有する保育担当者)が  
自宅でチャイルドケアを引き受ける、自治体のサービス。
- ・ 未就学児と、学校に通う子どもたちの放課後の世話をし、両親の都合に合わせて利用可。
- ・ 保育所の機能を代替する等の役割も果たす。
- ・ 保育担当者がその人の自宅内で数人から10人程度を保育。
- ・ 1980年代後半から着実に減少している。

このうち、3家族の子供を一人の保育士が預かる方式を3家族保育システムという場合がある。

3家族ぐらいが集まって部屋に余裕のある家庭で子供を保育するか、  
あるいは親の就労や就学にあわせて交代で子供を保育するか、といった方法。

スウェーデンにおける保育所等に入所している児童の割合(2003 年時)

年齢	保育所	家庭型 保育	総数
1 歳	40%	5%	45%
2 歳	79%	8%	87%
3 歳	83%	8%	91%
4 歳	88%	8%	96%
5 歳	90%	7%	97%
総数	75%	7%	82%

資料: Swedish Institute “Childcare in Sweden”

これらの保育サービスを受けている者の人口に対する割合は1～5歳で82%であり  
いわゆる待機児童はほとんど解消していると言われている。

ちなみに数字で言うと1～5歳までの子どものうち

35.2万人が保育所、約3.3万人が家庭型保育等で保育サービスを受けている。

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/whitepaper/w-2005/17WebHonpen/html/h1420411.html>

義務教育は7歳からだが1997年秋から6歳児就学を可能に。  
小学校内に「0年生」を設置し、6歳児活動をするよう整備されている。  
その年の1～12月の間に6歳になる子供は、小学校に通う。  
(日本の幼稚園の年長クラスで4月～12月生まれの子と小1の早生まれの子供に相当。)

### 就学前学級 preschool class

---

- ・ 6歳児対象(5～7歳児対象なところも?)
- ・ 小学校の中に置かれ就学前に集団生活を学ぶことを目的にしている。
- ・ 半日利用可。
- ・ コミュニケーションが提供
- ・ 無料
- ・ 教育的観念の強いグループ(指導には就学前教育の教師や保育士が担当)

<http://kwww3.koshigaya.bunkyo.ac.jp/wiki/index.php/%E3%82%B9%E3%82%A6%E3%82%A7%E3%83%BC%E3%83%87%E3%83%B3%E3%81%AE%E4%BF%9D%E8%82%B2%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%93%E3%82%B9>

親又は育児従業者が在宅の場合にその子供たちのための正規の就学前学校に代わる  
1つの選択として開放型就学前学校というものも。

- ・ 一週間の開所日数、一回の開所時間などは施設によってまちまち
- ・ 児童は登録の必要なし(任意の時間に来所して利用することになる。)
- ・ ほとんどの場合、保育料も無料
- ・ 1999年時点で約900存在するが、近年は減少傾向であり2003年には550に。

### 学童保育所学童余暇センター after-school center又はleisure-time center

---

- ・ 学校教育を補足するもので子供たちの発達を助け有意義なレクリエーションを提供。
- ・ 両親が働いている6～12歳の学童対象
- ・ 小学校に併設されている。
- ・ 学校の登下校の前後か夏休みなどの休暇中
- ・ 年中開かれているが、日々の開所時間は親の予定によって変化。
- ・ 保育料は低額。
- ・ 6～9歳児の74.6%、10～12歳児の10%が通っている(2004年時)

学童余暇センターや家庭保育所に代わる1選択肢と規定されている

開放型学童余暇センターというものも。

- ・ 10～12歳の学童
- ・ 放課後から夕方にかけて開放
- ・ この施設はあまり広がっていない。

## スウェーデン式保育の特徴

雨が降ろうが雪が降ろうが、午前中は絶対に外遊び。さすがに-10度になる日は室内だが、雨や雪は日本ほど激しく降らないので、ヤッケのような上下を着て毎日泥だらけになって遊ぶ。

園庭の無い私立 Förskola の場合は、外遊びは公園になるので開放感がある。

また私立 Förskola の中には、週1回約1時間歩いて森に行き、ランチも昼寝も外という頼もしいものも。学校外授業として美術館や博物館、図書館、児童館のようなところに行く事もしょっちゅう。

平日の朝街を歩いていると、子供たちが先生に連れられて歩く姿をあちこちで見かけられる。

## 参考情報

主な Förskola

英語で保育を実施している Förskola

### ☆Föskolan Fo rskaren(通称ラピス)

WGCの日本人の子弟がたくさん通っています。

住所Forskarbacken 14-18(sveaplanから40番バスに乗って約 15 分Stora Lappkärrsberget下車)。  
Tel:508-10 686。公立です。バイリンガルの日本人の先生がいます(2007年4月現在)。子供はアジア系、中東系、白人若干名。スウェーデン語のクラスもあります。郊外なので園庭が広くのびのびとしています。

### ☆Mothergoose (www.mothergoose.nu)

SolnaとGärdetにあります。Solnaのほうは、WGCから通うには車が必要と思われます。

日本からでもinternetでウェイティングリストを送ることができます。費用は多分公立の最高額と同じぐらいですが、子供の年齢によって変わるようです。ウェイティングリストは常に100人以上待っているそうですので、早めに入れておくことをお勧めします。

### ☆EuropaSkolan(<http://www.europaskolan.nu/forskola.html>)

OdengatanとSveavägenの交差点近くにあるバイリンガルの学校。費用は公立と同じ。

### ☆SIS(Stockholm International School) <http://www.intsch.se>

由緒或るインターナショナルスクール。費用が高め。企業の子弟が多い？

### ☆British International Primary School

([www.britishinternationalprimaryschool.se/index.html](http://www.britishinternationalprimaryschool.se/index.html))

こちらもやや高め。インターネットで申し込み可能。

#### ☆Futura International Pre-School

Brunsbärsvägen 7 114 21 Stockholm

Principal: Sara Drew 08-674 00 60

2008年2月オープンしたとのこと。WGCからは徒歩10分ぐらい。

詳細と入学申し込みは下記HP参照。

<http://www.futuraskolan.se/home/page.asp?sid=3646&mid=2&PageId=46507>

他にもいくつか英語の幼稚園・保育園はあるようですが、mother tongueが英語であることなどの制限が付く場合もあります。

#### ☆スウェーデン語のFörskola

ストックホルム市の支所のようなところ\*に行くとも一覧表があります。第3志望ぐらいまで書いて、空きがあるところに入れてくれますが、夏休み前に申し込むと9月ぐらいまで待たされることが多いようです。

私立と公立では申込用紙が違います。私立はそれぞれに特徴がありますので、興味のある方は見学をしてみることをお勧めします。

\*支所の場所は<http://www.stockholm.se/Extern/Templates/Page.aspx?id=42> で確認してください。

Normalms stadsdelsförvaltning: Tulegatan 13

Östermalms stadsdelsförvaltning:Karlavägen 104

#### ☆小学校へ通う兄弟がいる場合:

短期滞在の家庭を対象にした英語の小・中学「Rödabergs Skolan」の同じ敷地内に「**Rödabergs Förskola**」(<http://www.pysslingen.se/>)という私立のFörskolaがありますが、満員であることが多いようです

[http://blogs.yahoo.co.jp/sweden\\_info/45727.html](http://blogs.yahoo.co.jp/sweden_info/45727.html)